

2011.9.5-6 「氷の物理と化学研究の新展開 2011」 スケジュール

9月5日	発表者	タイトル (座長予定者)
12:30 ~ 12:40	はじめの挨拶・事務連絡	
	水のダイナミクス (佐崎)	
12:40 ~ 13:00	菊地 龍弥 (原子力機構)	中性子準弾性散乱法の新しい解析法により見いだされた水の新たな拡散ダイナミクス
13:00 ~ 13:20	山室 修 (東大物性研)	中性子散乱で観た多孔性高分子錯体中の水のダイナミクス
13:20 ~ 13:40	山室 憲子 (東京電機大)	中性子準弾性散乱による生体保護物質グリシンベタイン水溶液中の水のダイナミクス
13:40 ~ 14:00	小林 一道 (北大工)	Condensation coefficient of water in a weak condensation state
14:00 ~ 14:20	原田 慈久 (東大工化学)	水の電子状態とミクロ不均一性の予測
14:20 ~ 14:40	休憩 水・氷相転移 (竹中)	
14:40 ~ 15:00	久賀 みづき (新潟大)	分子動力学シミュレーションによる氷Ih表面の部分融解の研究
15:00 ~ 15:20	望月 建爾 (岡山大・予定)	氷の融解過程に関する理論研究
15:20 ~ 15:40	佐崎 元 (北大低温研)	水-氷界面の高分解光学観察
15:40 ~ 16:00	内田 努 (北大工)	トレハロースの凍結保護作用と氷Ic相の形成
16:00 ~ 16:20	休憩 氷の高圧相 (佐々木)	
16:20 ~ 16:40	岡田 卓 (東大物性研)	高圧下における氷VIIの高プロトン伝導状態
16:40 ~ 17:00	池田 隆司 (原子力機構)	First Principles Molecular Dynamics Simulations for Water under High Temperatures and Pressures
17:00 ~ 17:20	鈴木 芳治 (物・材研)	LiCl水溶液ガラスの溶媒状態と高密度アモルファス氷との関係
17:20 ~ 17:40	飯高 敏晃 (理化学研)	氷におけるプロトンダイナミクス
17:40 ~ 18:00	休憩 H ₂ Oの表面反応 (桜井)	
18:00 ~ 18:20	岡田 哲男 (東工大)	氷ではかる。氷をはかる
18:20 ~ 18:40	竹中 規訓 (大阪府立大)	氷とガス状有機化合物の相互作用の測定
18:40 ~ 19:00	濱野 享史 (大阪府立大)	凍結電位に基づく電気化学反応の可能性 (仮題)
19:00 ~	懇親会 (低温研内)	

9月6日	発表者	タイトル (座長予定者)
	クラスレート物性の物性 (山本)	
8:30 ~ 8:50	酒井 宏紀 (岐阜大)	高圧力下におけるガスハイドレートの弾性的性質
8:50 ~ 9:10	室町 実大 (慶応大)	O ₃ +O ₂ +CO ₂ ハイドレートについての相平衡測定
9:10 ~ 9:30	竹谷 敏 (産総研)	クラスレートハイドレートの結晶構造解析、位相コントラストイメージング
9:30 ~ 9:50	橋本 俊輔 (阪大)	水素系混合ガスハイドレートにおける水素の籠占有性
9:50 ~ 10:10	休憩 クラスレートの構造 (竹谷)	
10:10 ~ 10:30	吉田 将司 (岐阜大)	プロパン-メタン、プロパン-窒素ハイドレートsII相の単結晶作製と構造安定性
10:30 ~ 10:50	平塚 将起 (慶応大)	第一原理分子動力学法によるクラスレート水和物の振動スペクトル解析
10:50 ~ 11:10	松本 正和 (岡山大)	クラスレートハイドレートの構造選択則
11:10 ~ 11:30	堀 彰 (北見工大)	未定
11:30 ~ 11:50	休憩 クラスレートのダイナミクス (内田)	
11:50 ~ 12:10	大野 浩 (産総研)	氷点下におけるArおよびKrハイドレートの分解挙動
12:10 ~ 12:30	井上 達也 (阪大)	メタンハイドレート中でのホスト分子由来のラジカル種が関与するラジカル反応機構
12:30 ~ 12:50	大島 基 (阪大)	CO ₂ ハイドレート内部で起こるラジカル反応
12:50 ~ 13:10	平林紳一郎 (産総研)	低温・低圧下でのガスハイドレート生成-超音波霧化法による生成速度の向上の検討
13:10 ~	終わりの挨拶	